

旭ヶ丘

学園だより

No.8

編集・発行

高知高等学校

高知高等学校 PTA

平成29年12月20日発行

二学期を振り返って

高校副校長 石井 全

保護者の皆様には日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

さて、二学期も終わりが近づきました。生徒の皆さんは有意義な二学期が過ごせたでしょうか。二学期は3年生にとって進路を決める大切な時期で就職試験や大学・専門学校の入学試験（推薦入試など）が行われています。さらに三学期に入ると本格的に一般入試があり、多くの生徒が受験することになっています。自分の進路実現に向けてしっかりと取り組んでください。

ところで入試といえば、「大学入試センター試験」は2020年1月の実施を最後に廃止されます。そして、2021年1月に新しいテスト「大学入学共通テスト」が導入されることが文部科学省から発表されています。ちょうど現在の中学3年生から新しいテストを受験することになります。高大接続改革では「国際化、情報化の急速な発展の中で社会構造も急速に変革していき、知識基盤社会の中で、新たな価値観を創造していく力を育てていくことが必要」とされ、「社会で自立的に活動

していくために必要な学力の三要素として、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を掲げ、「これらをバランスよく育むことが必要である」と指摘しています。そこで、高大接続の要である大学入試において上の三要素を多面的・総合的に評価する選抜方法に切り替えることにより、小学校から大学までの教育を一貫して改革しようとするものです。

大学入学者選抜の方法が変われば、そこに至るまでの学校教育（高校教育・中学教育）も変わっていかざるを得ません。こうした変化の方向性については、教務部や進路特進部を中心として、保護者の皆様にも発信して行くとともに、中高一貫という特質を十分に生かして、しっかりと対応していく所存です。

なお、すでに導入しておりますeラーニング「すらら」での英語学習や、本年度から限定的に試行している学習支援クラウドサービス「Classi」での学習も、こうした教育改革に対応する動きです。今後とも積極的に研究を進めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。次に、二学期を振り返って学校の

様子を少しご紹介します。

部活動をみてみますと、二学期には第72回愛媛国体において、少年男子ライフル競技で個人4位に、少年女子剣道が団体5位に入賞しました。さらに11月には全国大会の予選が行われました。この予選において運動部では男子バレーボール部、弓道部、女子剣道部、少林寺拳法部が、文化部では吹奏楽部がマーチングバンド部門で優勝をおさめました。これら5つの部活動は全国大会に出場します。他にも本校の部活動は今年度も素晴らしい活躍をしています。

去る10月7日、8日に前日までの雨とは打って変わって好天に恵まれ、生徒会を中心に生徒たちが自ら企画し運営する学園祭が行われました。今年のテーマは「学園でつながる輪」でした。前日ぎりぎりまでの生徒達の協力と団結の様子に年々成長を感じるところです。文化部の発表、クラスの発表、模擬店と生徒のみなさんの生き生きとした表情が印象的でした。さらにPTA主催のバザーや物産展にも多くの方々が来てくださり、大変盛況のうちに終えることができました。ご協力ありがとうございました。

夜の8時、9時位まで灯りがついて頑張っている生徒がいます。9月頃からは毎日生徒が来て、11月までに延べ約500名の生徒が自習室を利用しました。また、多くの生徒が定期的に利用して学習に取り組んでいて、特に3年生は参考書や問題集を睨みながら入試に向けた勉強をしたり、近くにある進路室へ質問にいく姿が毎日みられるようになりました。よい結果が出るように頑張ってもらいたいものです。

次の話題は勉強合宿についてです。夏季休業中に今年で3年目となる勉強合宿が行われました。年々参加者は増加し、昨年の45名から今年は中学生3名を含む81名が参加して、ホテルSP春野で実施しました。朝から夜まで2泊3日の合宿で総学習時間25時間30分を設定してやり遂げました。講義を聞いたり、問題を解いたり、自分で自身の課題を見つけて学習していく姿勢を身に付けることが大切です。この経験が各自の自信となり、学習意欲を高め、より高い進路実現につながっていくことになると信じています。

三者協力会

三者協力会を終えて

総務部 秦泉寺 力仁

本年も11月25日（土）に「三者協力会」が開催されました。生徒・保護者・教員の三者が協力し、ひとつのことを成し遂げようという趣旨でおこなわれていますが、毎年たくさん生徒・保護者の皆様にご参加いただいております。取り組みとしては、昨年同様、校舎内外・周辺

地区の清掃をおこない、併せて今回は校舎内のペンキ塗りという取り組みを新たに試みました。普段の掃除では出来ない目の届かないところや、登下校等でお世話になっている周辺地域をきれいにすることで、生徒たちもまた新たな清々しい気持ちで学校に向かうことが出来るようになったのではないのでしょうか。更には、自分たちの手で校舎内の模様替えもすること、増々学校への愛着も高まったことでしょうか。これからもこの「三者協力会」は継続していきませんが、年を重ねるごとに良い活動になるよう、保護者の皆様、来年以降もご参加協力よろしくお願い致します。



学園祭

学園祭でつながれた輪

前期生徒会長 中山 由佳

今年の学園祭は大成功だったと思います。それは、事故もなく体育館でのイベントや片付けなどもスムーズに出来ていたからです。全校生徒と先生方の協力があって出来たものだと思います。

今回の学園祭のテーマである「学園でつながる輪」が生徒と生徒の間でも、生徒と先生の間でも出来ていたと感じました。私もたくさんの人との「輪」を作ることが出来ました。それを一番強く感じたのが、三年生に「生徒会長、一緒に写真を撮ろう！」と言われて、一緒に写真を撮ったことです。今まで喋ったこともないのに、学園祭を通して色々な人と関わりを持てたことはすごく嬉しかったです。来年の学園祭に向けての反省点は、タイムスケジュールをきちんと把握すること、学園ライブでの鑑賞マナーの向上です。そうすれば、今回よりもっと良い学園祭が開催できると思います。全校生徒の皆さん、PTAの皆様、先生方、本当にお疲れ様でした。

最後の学園祭

文化委員長 和田 夏海

私にとって、学園祭は三回目でした。六月ぐらいから出し物

を決めて準備を始めるのですが、やはり全然意見はまとまりません。でも、三年生になった今、出し物を何にするかではなく、全員でひとつのことをやるということが大事だと気付きました。本祭当日、自分の係りではない人もたくさん手伝いに来てくれました。食べ物を作るのが遅くなってもお客様一人一人に丁寧に商品を渡したり、皆で皆を支えたりして最高の学園祭になりました。

私は、文化委員長という仕事もありながら、クラスを引っ張ってきました。前に立つ人は時には大変な苦勞をすることもあります。しかしながら、最後には「楽しかった」と皆が口々に言ってくれて、本当に文化委員で良かったと思いました。私たち三年生は、最後の学園祭となりましたが、最高の思い出になりました。



大盛況だった学園祭

前期生徒会議長 横田 陸

今年度の学園祭は、店舗は大盛況、イベントは大盛り上がりで幕を閉じることが出来ました。一時は心配されていた天候も、当日は晴天で良き学園祭日和となりました。

普段であれば、見慣れないようなクラスメイトの姿を目にして、より一層クラスの仲が深まったのではないのでしょうか。



学園祭準備期間から遅くまで残ってひたむきに頑張っていた皆さんの姿がとても印象に残っています。各種委員会を始め、各々に割り当てられた仕事に精を出していた生徒の皆さん、ありがとうございました。皆さんのおかげで他の生徒の皆さんも楽しむことが出来ました。今回の学園祭では、様々な面で反省点・改善点も多かったと思われまふ。この経験を活かして、来年度の学園祭をより良いものにしていこうと考えています。本当にお疲れ様でした、ありがとうございました。



中学運動会

運動会を終えて

中学校生徒会長 津野虎太郎

高知中学校の運動会では、青、緑、黄、紫、赤の五色に分かれ、団長を率いる生徒達が優勝を目指して懸命に戦いました。運動会当日に備えて各色のチームでダンスの練習や、自分たちが出場する競技で優勝に貢献するために練習を重ねました。その中で、仲間と協力することで、仲間との友情、思いやりが深まり、仲間との絆の大切さを知ることができ、とても良い思い出になりました。



学園フェスタ

今年も学園フェスタ開催！

増田 和剛

今年度もイオンで学園フェスタが行われました。今年で、5年目の取り組みとなりますが、毎年、趣向を凝らした学園の特色を様々な形に置き換えて、特に、今年度は中高が中心となり学園全体のPR活動を行いました。

南コートでは、学校の教室に見立てたステージを背景に、幼稚園児の合唱、小学校のコーラス部の発表に引き続き、中高の吹奏楽のステージと各学校の取り組み発表が行われました。特に、今回のステージでは、中高の軽音楽部のソロステージや、ダンス同好会のダンスを初披露する場もあり、会場全体が一つのまとまりを見せることができました。そして、本校の卒業生でもある、声優の生田くんとさんさんテレビの和田アナウンサーとのトークショーではこれまでの活動やソロライブを披露してくれました。生田くんは、上京するまでは、本学園の幼稚園で教員もやっていたという経験もあり、学園の幅広さを伝えていただきました。

セントラルコートでは、プラネタリウムの設置と天文部とのコラボ企画も実現できました。以前、天文部の観望会でもお世話になった、本校の卒業生でもある関勉先生の活動パネルも合わせて展示をすることができ

した。このコートでは、学校を知ること、幼稚園から短大、リハまでの6校の学校の取り組みパネルや日々の映像に通りがかった人々は、学園を知る良い機会になりました。また、OGOB紹介では、昨年度より卒業生の数も増え、本校の卒業生がありとあらゆる分野で活躍している姿を見せていただくことができました。本校もまもなく120周年を迎えます。現在在籍している生徒達が今を作り、これまでの長い歴史をつないできてくれた先輩達に感謝しつつ、これから新たな仲間となっていく子どもたちへ、学園だからできる『信頼される人づくり』を目標とした学校教育を通じて関わっていきたいと思います。



進路・特進部より

高大接続改革について

高校進路・特進部長

小川 直人

0. 高大接続改革とは？

グローバル化の進展、技術革新、国内における生産年齢人口の急減などに伴い、予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要とされています。高大接続改革においては、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜を通じて学力の三要素を確実に育成・評価する、三者の一体的な改革を進めることが極めて重要であるとし、これらの改革に向けての取り組みを着実に進めています。（文部科学省HPより）

「学力の三要素」とは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」を指します。

高大接続改革は「高等学校教育」、「大学教育」、「大学入学者選抜」の3点における改革ですが、ここでは特に「大学入学者選抜」改革について述べます。

1. 大学入学共通テストの導入

現行の「大学入試センター試験」に代わって、2020年度（2021年1月）からは「大学入学共通テスト」が実施され

ます。現行の「大学入試センター試験」との大きな相違点は2つあります。

①「思考力・判断力・表現力」を評価するために、記述式問題を導入すること（国語、数学Ⅰ、数学ⅡA）、②英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）の評価について、民間の資格検定試験を活用することです。なお、認定された民間の資格・検定試験については、高校3年の4月（12月の間の2回目までの試験結果が活用されます）。

また、2023年度までは、「大学入学共通テスト」においても英語の試験が実施されます。各大学の判断で共通テストと認定試験（民間の資格・検定試験）のいずれか、または双方を選択利用することを可能にするとしています。また、国立大学協会の理事会は今年10月、両方を全国82校の受験生に科す方針を決めました。

2. 個別大学試験における「多面的・総合的評価」の導入

文科省は、大学入学者選抜について「多様な背景を持つ受検者一人一人の能力や経験を多面的・総合的に評価するものに改革すること」「今後、各大学の入学者選抜方法を、「学力の三要素」を多面的・総合的に評価するものへと転換することが必要」としています。各大学の個別の入学試験においては、「一

般入試」「AO入試」「推薦入試」という従来の区分を「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」に改めます。一般選抜では、詳細に記述された調査書や志願者本人が記載する資料等も含めて多面的・総合的に評価されます。また、総合型選抜・学校推薦型選抜においては、小論文、プレゼンテーション、教科・科目に係るテスト、「大学入学共通テスト」等のうち、いずれかの活用が必須化されます。

3. 近年の大学入試での変化

近年、一般入試でも面接・志望理由書等を導入した「多面的・総合的評価」を行う募集単位が増加しています。また、英語の検定試験を入試に活用する大学は増加しており、推薦・AO入試のみではなく一般入試で活用する大学も出てきています。利用方法は大きく分けて、①出願資格として利用、②見なし満点（得点）・加算、③英語試験の免除、の3つがあります。

4. 大学入学共通テストと新学習指導要領

下図のように今年度から来年度にかけてプレテストが実施されます。本校でも11月に高3の一部がプレテストを受検しました。共通テストを受験する最初の学年は現中学3年生です。そして高校入学時から新学習指導要領で学習する現小学5年生から共通テストはさらに変更される予定です。

大学入学共通テストと新学習指導要領

現在の学年	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
中3	7月 実施方針公表	11月 高校生対象	初頭 実施大綱	共通テスト				
中2	11月 高校生対象の	のプレテス ト（10万人	の策定・ 公表		共通テスト			
中1	プレテスト（5 万人規模）の実 施	規模）の実施				共通テスト		
小6							共通テスト	
小5								新テスト
新学習指導要領		小中学校実施		小学校	中学校	高校	※2022年度入学生から	

クラブ成績優秀者

愛媛国体を終えて

高校女子剣道部主将

酒井香菜子

(女子団体5位入賞)



私たち剣道部は、今年愛媛県で行われた「愛顔つなぐえひめ国体」に出場しました。まず、

本国体の出場切符を獲得するまでに、徳島、香川、高知の四国ブロックを勝ち抜かないといけませんでした。ブロック予選もかなりの緊張感がありました。予選を勝ち抜き本国体出場が決まったときには皆で泣いて喜びました。そして、本国体の本番までたくさんの練習、練習試合を繰り返し、全員で汗を流してきました。本国体では県大会やインターハイとは違う空気があり、とても張りつめていました。試合の中にも緊張があり、誰もが出来ることではない体験をたくさんすることが出来ました。また、来年の高知県の後輩たち

には、今年の結果を上回る結果を出してもらいたいです。

愛媛国体を終えて

ライフル射撃部

杉本 拓海

(10mエア・ライフル立射

60発競技 4位)

大会で貴重な経験ができました。練習通りの成績を出すことができ、顧問やコーチに感謝しています。これからもこの心を忘れずに頑張っていきたいと考えています。私には射撃の才能がありました。どんな人にもその人に合った才能があると思うので、自分に才能がないと言っている人はいろんなことにチャレンジしてみてください。



ジュニアオリンピックを戦って

中学陸上部

山中 柚花

(走り幅跳び

第3位銅メダル)

台風の影響で雨が降っていま

したが、全国の舞台で自己ベストに近い記録が出せたこと、表彰台に上がったことは良かったと思います。

3位になったのは、応援、指導してくれた家族、先生、先輩、まわりの人の支えがあったからなので、これからも感謝の気持ちを忘れずに、来年は優勝できるようにまた頑張ろうと思います。



アジア選手権を戦って

中学野球部

濱田 世

(U-15侍ジャパン代表選出)

日頃から監督さん、コーチから教えてもらったことや、仲間を支えてもらったことの恩返しが出来るとかと思いきやアジア大会に参加しました。自分は試合に出る回数も多くはありませんでしたが、チームジャパンのために自分ができることを精一杯頑張りました。結果的にアジア

制覇を達成でき、今まで支えて頂いた方々への恩返しができたと思います。この貴重な経験を今後の学校生活や部活動に活かしていきたいと思っています。



全国中学校体育大会を戦って

中学柔道部

鎌田 直人

(81kg級個人戦準優勝)

僕が、今回このような結果を残せたのは、自分だけの力ではなく、いつも練習の指導をしてくれる先生方、OBの方々、そして共に練習に励む先輩たち、いつも助けてくれる家族など、たくさんの人に支えてもらったおかげです。自分はまだまだ発展途上で、全日本の合宿に参加させてもらった時に、自分の強みと弱みを知ることができました。この強みと弱みについて、武器となる強みは更に伸ばし、弱みは少しずつでも無くしていくように、自分らしく練習を

クラブ成績(県体以降)
春の全国大会出場決定

男子バレーボール部

弓道部

男子団体
男子個人 福永光起
女子個人 山崎和

剣道部

女子団体

少林寺拳法部

男子自由組演武 中川博喜・津野龍生
女子自由単独演武 寺尾真耶

吹奏楽部



していきたいです。これからは、高校に向けて出来ることをしながら、ひとつでも多くの良い結果を残せるように、周囲の力も借りながら、柔道を楽しむということを決して忘れずに頑張っていきます。

柔道部

四国高等学校柔道選手権大会
男子団体 出場 女子団体 出場
男子個人 100kg級 準決勝進出 北村昂之祐
全国高等学校総合体育大会 柔道競技
男子個人 100kg級 出場 北村昂之祐
女子個人 52kg級 2回戦進出 山中穂乃香
57kg級 出場 植村 巴
高知県高等学校柔道選手権(夏季)大会
男子団体 3位 女子団体 2位
男子個人 73kg級 2位 久保翔平 3位 西山修怜、山中将志
90kg級 優勝 藤村大輝
100kg級 優勝 北村昂之祐
2位 原功 成 3位 細川滉士郎
女子個人 44kg級 2位 片田 晶
52kg級 2位 山中穂乃香
63kg級 優勝 植村 巴
高知県高等学校柔道新人(秋季)大会
男子団体 2位 女子団体 2位
男子個人 66kg級 2位 山本陸人
73kg級 優勝 山中将志 2位 藤本魁斗 3位 西山修怜
90kg級 優勝 藤村大輝
100kg級 優勝 北村昂之祐 2位 細川滉士郎
女子個人 48kg 級 2位 片田 晶
52kg 級 優勝 山中穂乃香
57kg 級 優勝 植村 巴
高知県南国柔道大会
男子団体 優勝 高知高A 2位 高知高B
男子個人 軽量級 優勝 山中雄真
中量級 優勝 石村光基 3位 藤本魁斗
重量級 優勝 北村昂之祐 2位 原 功成
3位 金枝将太郎、藤村大輝
女子個人 優勝 植村 巴 3位 片田 晶、山中穂乃香

相撲部

高知県高等学校相撲夏季大会(県下高校相撲選手権大会)
学年別 個人戦 3位 竹村輝人
高知県高等学校相撲冬季大会
団体戦 2位 個人戦 竹村輝人 3位
体重別 100kg級 山本龍成 3位

体操部

高知県高等学校秋季体操競技選手権大会
男子団体総合 1位(猪野、岡村、山本)
男子個人総合 1位 岡村太洋 第2位 猪野笙之介
3位 山本蒼汰
男子種目別
ゆか 1位 岡村太洋 2位 山本蒼汰 3位 猪野笙之介
あん馬 1位 岡村太洋 2位 猪野笙之介 3位 山本蒼汰
つり輪 1位 岡村太洋 2位 猪野笙之介 3位 山本蒼汰
跳馬 1位 猪野笙之介 2位 岡村太洋 3位 山本蒼汰
平行棒 1位 山本蒼汰 2位 猪野笙之介 3位 岡村太洋
鉄棒 1位 山本蒼汰 2位 岡村太洋 3位 猪野笙之介
女子団体総合 1位(村上、秋山、安藝)
女子個人総合 1位 安藝明利 3位 村上遥菜
女子種目別
跳馬 1位 安藝明利
段違い平行棒 2位 村上遥菜 3位 秋山真凜
平均台 1位 安藝明利
ゆか 1位 安藝明利 3位 村上遥菜

弓道部

高校夏季大会 男子団体優勝 男子個人 岡本大洋 1位
全国弓道選抜大会県予選(冬季選手権大会)男子団体優勝
男子個人 福永光起 1位 女子個人 山崎 和 1位
四国高等学校弓道新人大会 男子団体優勝

空手部

県高校冬季大会
男子 個人組手 +68kg級 岩井隆明 優勝
男子 個人組手 -53kg級 辻観 玲 3位
女子 個人組手 +59kg級 川村羽生 優勝
3選手とも四国大会に出場

サッカー部

全国高校サッカー選手権大会高知県予選 ベスト4

野球部

秋季四国地区高校野球大会高知県予選 準優勝
秋季四国地区高校野球大会 ベスト8

剣道部

四国高等学校剣道選手権大会 男子団体優勝 女子団体出場
インターハイ 男子団体出場 女子団体出場
男子個人出場 木下海成・川元崇史
女子個人出場 酒井香菜子・佐竹 蘭
国民体育大会 少年男子出場 永野浩起・東野一気
川元崇史・木下海成・東野一成
少年女子5位入賞 酒井香菜子・佐竹 蘭・寺村朱理・永野絢香
高知県高等学校秋季剣道新人大会
男子団体 3位 女子団体優勝
男子個人 1位 木下海成 2位 東野一成
3位 吉岡恵佑・弘田悠人
女子個人 1位 佐竹 蘭 2位 永野絢香

男子バレーボール部

四国高等学校バレーボール選手権大会 優勝
全国高等学校総合体育大会 出場
高知県高等学校バレーボール夏季大会 優勝
全日本バレーボール高等学校選手権大会高知県予選 優勝

陸上部

国民体育大会選手選考会
高1男子 榮枝隼人 少年B 砲丸投 優勝
高1男子 岡村豊寿 少年B 砲丸投 3位
高1女子 日浦理子 少年B 100m 優勝
高知市陸上競技選手権大会
高1男子 榮枝隼人 やり投 2位
高1女子 日浦理子 100m 3位
高2男子 谷 圭太 三段跳 3位
高知県高校新人陸上競技大会
高2男子 谷 圭太 三段跳 2位(四国大会出場決定)
高1女子 日浦理子 100m 2位(四国大会出場決定)
高1男子 榮枝隼人 砲丸投 3位(四国大会出場決定)
やり投げ 2位(四国大会出場決定)
8種競技 優勝
高知市陸上競技カーニバル大会
高1男子 榮枝隼人 やり投 優勝
高1女子 日浦理子 走幅跳 優勝
高2男子 谷 圭太 三段跳 優勝

ライフル射撃部

四国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
ビームピストル男子個人 第3位 宮田和政
ビームピストル女子個人 第3位 吉田真奈
国民体育大会
エアライフル男子 第4位 杉本拓海
高知県高等学校秋季選手権大会
エアライフル男子個人 第2位 藤岡裕士

男子バスケットボール部

高校夏季大会 2回戦敗退 高校秋季大会 ベスト4

女子テニス部

高知県テニス選手権大会
18歳シングルス 優勝 小原更紗 準優勝 濱崎 葵
3位 山崎有花
18歳ダブルス 優勝 小原更紗・濱崎 葵
3位 山崎有花・山本もえ
16歳ダブルス 準優勝 田所千明・川田眞子
青山整形杯夏季ジュニアテニス
シングルス 準優勝 田所千明
3位 濱崎 葵 3位 山崎有花
ダブルス 準優勝 田所千明・川田眞子
3位 濱崎 葵・山崎有花
高知県高等学校新人冬季大会 団体 優勝
高知県高等学校新人冬季大会
シングルス 準優勝 田所千明 3位 濱崎 葵
ダブルス 優勝 田所千明・川田眞子
3位 濱崎 葵・山崎有花

男子テニス部

高知県テニス選手権 ジュニアの部
18歳以下
シングルス 優勝 岩瀬京路
ベスト4 上村洋平 松浦直樹
ダブルス 優勝 上村洋平・岩瀬京路
ベスト4 土居和希・島本直樹
16歳以下
シングルス 優勝 西原大河
ベスト4 乙部 輝
ダブルス 優勝 西原大河・秋山将太郎
準優勝 市川敦士・乙部 輝
夏季ジュニアテニストーナメント
高校生の部
シングルス 優勝 岩瀬京路
準優勝 西原大河
ベスト4 中谷太亮
ダブルス 優勝 岩瀬京路・松浦直樹
準優勝 土居和希・島本直樹
ベスト4 中谷太亮・西原大河
市川敦士・乙部 輝

高校新人大会
団体戦 優勝
シングルス 優勝 岩瀬京路 準優勝 西原大河
ベスト4 中谷太亮 土居和希
ダブルス 優勝 岩瀬京路・松浦直樹
準優勝 土居和希・島本直樹
ベスト4 中谷太亮・西原大河
市川敦士・乙部 輝

少林寺拳法部

全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会(インターハイ)
男子団体演武 出場
河野雅仁・須賀広太・市川貴也・磯久侑希・中川博喜・津野龍生
男子組演武 出場 須賀広太・市川貴也
男子組演武 出場 中川博喜・津野龍生
女子組演武 出場 岩村真佑・中山あや
女子単独演武 出場 濱田歩夏
高知県高等学校少林寺拳法夏季大会
男子組演武 1位 中川博喜・津野龍生
女子単独演武 2位 寺尾真耶
高知県高等学校少林寺拳法秋季大会 兼全国高等学校少林寺拳
法選抜大会予選
男子自由組演武 1位 中川博喜・津野龍生(全国選抜大会出場)
女子自由単独演武 2位 寺尾真耶(全国選抜大会出場)

軽音楽部

第13回高知県高等学校軽音楽演奏会 軽音楽
優秀賞 バンド名[Laze of Lazy]
メンバー ギター・ボーカル:川村斗亜 ギター:横田 陸
ドラム:濱田奏良斗 ベース :岡崎史竜